

かぬま学びフェスティバル'13 開催

かぬま生涯学習大学の講座や地域のサークルなどで学ぶ皆さんの、日頃の成果を発表します。ダンスなどの実演、さまざまな作品の展示、実際に作品を作ることができる体験コーナーのほか、模擬店やスタンプラリーなど盛りだくさんです。

あなたもたくさんの“学び”に触れてみませんか？

ぜひ、ご来場ください！

日時：平成25年10月19日(土)午前10時から午後4時

10月20日(日)午前10時から午後3時

会場：鹿沼市民情報センター、文化活動交流館、川上澄生美術館、図書館本館



新編集員あいさつ

鹿沼市に移り住んで20年になります。市には「かぬま生涯学習大学」という、さまざまな分野にわたり内容も充実した学びの場がありますね。皆様にお薦めしたい魅力ある講座を、体験レポートを通してたくさんお伝えしていきたいと思えます。

介川恭子

すべての出会いは一生に一度。チャンスを逃すな！私は一期一会という言葉が大好きです。これから編集員として、今、この時を大切に、自分も共に喜び、学び、楽しみながら、全力で取り組みたいと思っています。

瀧田祐三

江戸しぐさ

「江戸を支えた 共生の知恵」

現代では、タバコは吸っている本人だけでなく、周りの人たちの健康にも悪い影響を与えるという認識が、誰にでも当たり前のようになっていると思います。江戸時代では、年下の者が年上の前でタバコを吸う場合には許しが必要で、また相手が吸わなければ自分も吸わないという一種の喫煙モラルがありました。健康被害についての認識がどの程度あったかはわかりませんが、他人に迷惑をかけるはいけない、若い者がたやすく吸うものではない、そんな社会風潮が江戸にはありました。最近でも分煙化が進み、タバコを吸わない人に対する配慮はなされてきました。現代人にも喫煙モラルが根付いていますね。この江戸から続く「他人に迷惑をかけるためのしぐさ」が、これからもずっと続くことを願っています。

編集後記

今年も半分が終わり、時間の流れの速さに少し焦りを感じてしまっています。夏の暑さに負けず、自分なりの目標と楽しみを持ち、今年後半を元気に過ごしていきたいと思っています。

西本恭子

ゴミ拾いはスポーツだ！

栃木北部読売会主催の「スポーツGOMI拾いin栃木鹿沼大会」が4月28日(日)に行われました。スポーツGOMI拾いとは、ゴミ拾いに競技の要素を加え、スポーツと社会奉仕活動を融合させた日本発祥の新しいスポーツです。当日は文化活動交流館から「ゴミ拾いはスポーツだ！」を合言葉に、制限時間内に定められたエリアでゴミを拾い、質と量を決められたポイントに換算して順位を競い合いました。

参加者は、親子や友達、会社の同僚など全16チームで約80名。燃えるゴミ・燃えないゴミ・ビン・ペットボトル・タバコの吸い殻など、分別して各チームで拾っていきます。



この日1時間の大会で集まったゴミは138kgでした。そのあまりの量の多さに、皆さん驚いていました。

ある高校生グループは、タバコの吸い殻が多いと言っていました。捨てた人にとっては「たった一つの吸い殻」であっても、この日集まったものは山のような多さになりました。火事の原因にもなるので、タバコの吸い殻のポイ捨てはしないでほしいと感じました。



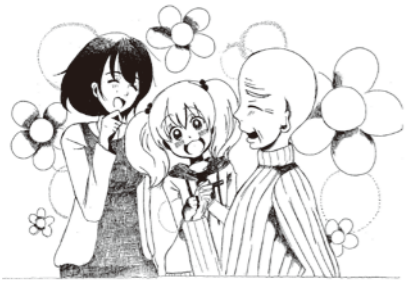
この大会が終わった後には、「街をきれいにしようと思った」「今後も積極的にゴミ拾いをしたい」と多くの参加者が晴れ晴れとした表情で語っていたのが印象的でした。また、「スポーツ感覚で楽しいゴミ拾いできた」という感想もあり、参加者の皆さんは、仲間と楽しみながら歩き、ゴミ拾いをする事ができたようです。

No.138 平成25年7月25日発行

紙面のご案内

- 1面：スポーツGOMI拾い
 - 2・3面：川柳おたのしみ教室、脳力アップ教室、親子体験学習「かけっこ講座」、さあ！男の出番です！
 - 4面：かぬま学びフェスティバル'13開催案内、新編集員あいさつ、江戸しぐさ、編集後記
- ☆鹿沼市では、「まちへ広がれ！学びの輪」をスローガンに、さまざまな活動と人々のきずなが地域へ広がり、市民と行政等が連携・協力し合う地域づくり・まちづくりを目指しています。

myらいふ



myらいふは、市民編集員が取材・編集する生涯学習情報紙です。

